

大会2日目、午前中は朝方の雨や雲のため、日差しもあまり強くない、さわやかな日になりました。しかし、午後になるとやはり強烈な日差しが肌を射すようになりました。

車検を通過したチームが早くもプラクティス走行を開始し、会場にエンジン音が響き、盛り上がってきました。今回は海外からのも含めて、73チームがエントリーとなりました。(9/4 16:00現在)

本日より静的審査(コスト・プレゼンテーション・デザイン)が始まりました。

【プレゼンテーション】



毎年、女性がプレゼンする大学もあり、慣れた感じで、Q&Aにも答えていました。

【シャトルバス】



アリーナの会場へは、シャトルバスにてピストン輸送。ここでも女性ドライバーが活躍。

【デザイン審査】



自分たちのマシンの特徴を審査員にアピール。

【コスト審査】



コスト計算の分厚いファイルを前に、審査員に必死の説明。

【修理工房】



万一の時の駆け込み寺。プロの技術にお世話になります！

【コミュニケーションテント】



参加大学のメンバーとマシンを紹介した資料が展示されています。

【ラジオの生放送】



地元の静岡放送SBSラジオ局(1404KHz)が取材、現場のエンジン音も交えての13:20から約10分間の生中継。



【女性リーダーが率いるチーム】



慶應義塾大学



東京理科大学